

評価委員 : 小川優、安西暉之、柴俊明、本橋慶子、鷲谷修也

報告書作成者: 小川克己

評価時期 令和5年2月

### 1 重点目標の評価

- (1) 「好きな遊びに熱中し、自分らしさを素直に表現できる「元気に遊べる子」を育む」について  
保護者のアンケート結果が概ね高評価であることから、こども園が重点目標(1)に向けて身体を  
使える近隣公園に行き運動遊びや自然に触れ、園庭での野菜の栽培、エビ、めだかなどの飼育を  
行い、子どもが興味味・関心をもって成長を喜ぶ経験ができるよう意図的・計画的に教育活動を  
進めており、それに伴い園児が成長していることが伺える。
- (2) 「自ら考えて行動し、最後までやりぬく努力をする「根気よくやりぬく子」を育む」について  
縄跳び遊びでも持ち手なしのひもを使い、飛べた回数により色テープを貼りチャレンジ精神を養  
うなどの工夫をしてやり抜く教育活動を進めており、一人ひとりがやりたい遊びで楽しみながら  
根気よく取り組んで成長していることが伺える。
- (3) 「自ら調べ知識を高め、好奇心や想像力のある「読書好きな子」を育む」について  
開園してからの年数も浅いため蔵書も限られているが、図書館の集団貸出も利用して子どもたち  
の興味を引く本を多く用意し、自由に好きな本を選んで手に取って読めるような環境を整備して  
いる。また、年長児がジャンルごとのラベルにより本の整頓を行い年下の子どもに教えるなど、  
本を大切にすることを育み読書が好きになるような教育活動が行われていることが伺える。
- (4) 「優しく思いやりがあり、場や人に親しみをもつ「素直で思いやりのある子」を育む」について  
1～5歳児が同じフロアにいて同じ園庭・廊下で遊び育っていくことから、異年齢保育にも積極的  
・計画的に取り組んでおり、年長は年下の子どもを思いやったり年下の子どもは年長の子とも  
遊ぶことで家庭では経験できない環境を整えている。まごころプロジェクトや隣接の坂本町公園  
との関わりの中で地域の協力を得ながら、地域や身近な人への親しみの気持ちを育むような教育  
活動が行われていることが伺える。

### 2 今後の改善に向けた意見

重点目標と全体の評価ともに全体的に評価が高く、教育保育活動の取組姿勢、成果とも十分なも  
のと感じられる。今後も引き続き教育保育活動の充実がはかれることを期待したい。

また、保護者によっては我が子の成長に期待をもつあまり「まだ不十分・・・」と思うことも多々  
あることでもあり、我が子の成長に不安や焦りを感じる保護者に対して、保育教諭を感じる子ど  
もの成長についての思いを保護者と率直に話し合い、その対応や相談も引き続きお願いしたい。  
個別意見としては預かり保育の充実に期待が多いこともあり、預かり保育の基本的な考え方は  
あるものの更なる工夫も検討されたい。

### 3 その他の意見

保護者アンケートの内容・項目については、重点目標に直接結びつくような内容を多く取り入れ  
た方がわかりやすいと思われるが、アンケート結果は各項目とも概ね高評価であり否定的な回答  
は少なく特段の問題はないと考える。